

平成25年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	子どもの支援・相談スペース設置・運営事業
事業主体 (連絡先)	松本市 (松本市役所 こども部 こども育成課 TEL0263-34-3261)
事業区分	(2) 保健、医療、福祉の充実に係る事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	2,524,040円 (うち支援金: 1,267,000円)

事業内容

子どもの支援・相談スペース「はぐルッポ」は、さまざまな事情で学校に通うことができない、引きこもりがちになっている子どもたちに居場所や気軽に相談できる場所を提供し、子どもたちが自ら一步を踏み出すためのエネルギーを育むことができる場所として、平成25年5月1日に開所しました。(運営委託団体: 松本市子育てコミュニティーサイトプロジェクト)



この施設では、自由に過ごし交流できる場の他に、ボランティア指導員による学習サポート、子どもや親の悩みに対する相談、子育て支援に関する情報提供などを行っています。夏にはデイキャンプ、冬にはクリスマス会などのイベントも行います。

※1 自己評価 (事業実施率) 【 A 】

事業効果

子どもたちは、勉強や読書、オルガンなど、思い思いのことをしながら時を過ごす中で、好きなことを見つけたり、何かを達成することなどにより自信を取り戻しています。次に一例を示します。

Aさんは、ピアノを弾いたことがなかったのですが、ここにあるオルガンで好きな曲が弾けるようになったことをきっかけに気持ちが前向きになり、高校受験もとてもがんばり、みごと志望校に合格しました。

Bさんは、勉強が遅れるのが不安でしたが、特に数学が得意になったことが自信となり、表情がとても明るくなりました。

【目標・ねらい】

- 引きこもりがちな子どもへの居場所の提供
- 子どもの学習意欲の向上
- 子どもや親の心の悩みの軽減
- 子ども自らが外へ一步踏み出す意識の向上

今後の取り組み

※2 自己評価 (事業効果) 【 B 】

新規の通所者は増えつつあり、開所日数の増加を望む声が聞かれるようになったことなどから、26年度から開所日数を週1日増やす方向で受託団体と調整中です。

また、支援体制の充実に図るため、子どもの職業体験などの新規事業を実施したいと考えています。

※1 自己評価 (事業実施率) 欄は、「A」90%以上、「B」70~89%、「C」50~69%、「D」49%以下で示すこと。
 ※2 自己評価 (事業効果) 欄は、以下から選択のこと。
 「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた
 「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある